

## 2010 年度事業報告

(◎は、2010 年度総会時事業計画以降に、新たに加わった事項)

### 1. クリーンエイド活動

これまでに引き続き、荒川流域各地の団体が荒川やその支流のゴミ拾い活動を実施する支援を行い、フォーラムとして荒川クリーンエイド 2010 を実施した。

#### ○数えるゴミ拾いの実施

ポスター、リーフレット、インターネット等を活用して各地の実施団体が参加者募集を行えるよう支援した。また、調査用紙・ゴミ袋等を作成し実施団体に配布した。荒川クリーンエイド 2010 では、120 会場がエントリーされ、雨天での中止を除いた 110 会場で荒川クリーンエイドが実施され、参加者の合計は 10,675 人となった。

#### ○「荒川ペットボトル大捜索 2010！」の実施

近年増えているペットボトル散乱ゴミに着目して、各会場でのペットボトル調査の実施を呼びかけた。その結果、秋以降実施 78 団体中 66 団体が調査を実施し、53 団体はペットボトルの種類別調査に取り組み、合計 8,952 個のペットボトルの種類別調査が行われた。

#### ○実施説明会の開催

4 月 24 日と 9 月 25 日の 2 回開催し、荒川クリーンエイドの趣旨や実施方法について説明した。また、指導者育成として、説明会に合わせて荒川クリーンエイド体験会を開催して、新たな実施団体の担当者と実施方法を具体的に共有した。

水辺の安全セミナーは 9 月 25 日の実施説明会の中で開催し、主に実施団体のキャプテンを対象に安全な活動ができるよう指導した。

#### ○主催会場の運営

5 月 29 日に「24 時間テレビ」チャリティー委員会、10 月 17 日に下平井水辺の楽校、11 月 6 日にふるさと清掃運動会と、それぞれ共催で荒川クリーンエイドを実施した。

#### ○報告会の開催

2011 年の実施団体連絡会と合わせ、2 月 16 日に報告・連絡会として開催した中で、2010 年の実施概況とゴミデータの集計等について報告を行った。

その他にも、市民パトロール隊の活動を活性化させるよう、テーマ別連絡様式（4 回）およびニュースレター（4 回）の編集を行い、隊員からの情報を荒川下流河川事務所に報告した。

### 2. 自然地理管理

荒川での健全な生態系の保全を目指して、自然地の維持管理の仕組み作りや希少種の保全を目的に実施した。

#### ◎「小松川自然地理連続プログラム」

多くの人に荒川の自然環境の現状を理解いただくとともに荒川への関心を高めることを目的に、小松川自然地理において、外来種の除草やヨシ刈り、自然環境教室などを実施した。一般を対象に参加者を募り 10 月 23 日に生き物観察会、11 月 7 日および 11 月 20 日に草刈り体験会を開催した。他にも 9 月 21 日に学校対象の学習支援、10 月 7 日、8 日、23 日は民間企業

対象に外来植物の除草を実施した。合計7回のプログラムで合わせてのべ301名が参加した。

#### ◎ヒスマイトトンボの復活プロジェクト

荒川潜在的な荒川本来の環境保全を念頭に置き、2011年度から活動を開始すべく、筑波大学大学院生命環境科学研究科、山口むしの会、江戸川河川事務所調査課等全国的なヒスマイトトンボの保全復活に関係する事例収集に当たった。

### 3. 水質調査

春と秋の2回、パックテストや調査用紙等を流域の調査実施団体に配布し、各地の調査結果をとりまとめた。

#### ○身近な水環境の全国一斉調査

6月6日(日)午前10時を中心に、荒川本流と流域各地の身近な川や池などで、温度とCOD(低濃度)の水質調査を実施した。22団体が参加し、合計56地点の調査結果を得た。データをとりまとめて全国水環境マップ実行委員会事務局に送付した。また同実行委員会に参加して、今後に向けての検討を行った。

#### ○秋のクリーンエイド時水質調査

荒川クリーンエイドの実施前または実施後に各会場近くの川で採水して調査を行った。10会場(9地点)では荒川本流の川の流れの中心部か橋の中央部から採水して、CODの他にpH、アンモニア態窒素、亜硝酸態窒素、硝酸態窒素、透視度等を測定した。他にも21会場において水質調査を実施して、ゴミ拾いに加えて身近な川の水への関心を高めた。

### 4. 流域交流

荒川下流域の市民団体や行政、荒川上中流域の市民団体などと連携した各種取り組みを実施した。

#### ○荒川源流エコツアー

9月11～12日に、1泊2日で荒川の源流部・秩父市大滝へのエコツアーを実施し、原生林散策・鉦山見学などの見学の他にもゲストを招いての上下流交流を行った。

#### ○荒川流域再生プロジェクトへの参加

8月7日に、NPO法人荒川流域ネットワークが主催する「荒川流域再生シンポジウム」を共催し、荒川流域の自然再生について話し合った。他にも「荒川流域再生プロジェクト」による「天然アユ遡上支援活動」に参加し、流域連携を推進した。

### 5. 環境教育

荒川クリーンエイドの実施に加え、河川環境への関心を高めるような支援を、小中学校、高等学校、企業等に対して実施した。

#### ○小中学校の「総合的な学習の時間」の支援

荒川下流の自然地において、荒川クリーンエイドの実施を含めた水辺の学習をサポートした。5校合計24回のサポートを実施した。

#### ○高等学校の「奉仕活動」の支援

荒川クリーンエイドを実施する際には、荒川クリーンエイドの意義を十分理解してから参加するよ

う事前学習の時間を取ることを勧めた。2010 年は都立日本橋高校の事前学習の講師として出向いた。

○自然環境教室

荒川クリーンエイド等の実施日に、その参加者を対象に、荒川の自然に親しみ、生物多様性への理解を深めるプログラムを、年間 9 回開催した。

○社員研修

5 月に 2 社の研修を実施した。2011 年の春の企業の新入社員研修の実施に向け、5 社の実施申込を受け、プログラム開発をすすめた。

## 6. 他セクターや全国・世界とつながる活動（参加・協力）

埼玉と東京、ひいては、荒川流域内外の他のセクターとの連携を通じて、全国・世界とつながる活動を展開した。

○荒川自然懇談会への参加

荒川下流部で活動する自然保護団体が集まり「荒川自然連絡会」を構成し、荒川下流河川事務所との間で「荒川自然懇談会」を 3 回開催し、自然地の管理について提言し、行政との協働を推進した。

○埼玉県河川環境団体連絡協議会および川の再生交流会への参加

埼玉県河川環境団体連絡協議会に参加。埼玉県が主催し、同協議会が協力して 1 月 29 日に開催された「川の再生交流会」に参加協力し、埼玉県内での連携を図った。

◎荒川下流部自然地管理・運営検討会への参加

2010 年度より開催された、荒川下流河川事務所が主催する「荒川下流部自然地管理・運営検討会」（2 月 4 日開催）に委員として参加した。

◎国土交通省河川局のワーキングへの参加

国土交通省河川局河川環境課「河川ゴミの状況把握・発生抑制に関するワーキング」に委員として参加し、全国の河川に展開できる調査手法の検討について協議した。

○一般社団法人 JEAN との協力

荒川クリーンエイド各会場のゴミ調査結果を提出して、一般社団法人 JEAN を通じて、世界の海洋ゴミ調査として結果が反映された。

## 7. 広 報

荒川クリーンエイドの活動が拡がるよう、様々な媒体を通して広報活動を展開した。

○ポスター・リーフレット（荒川クリーンエイド 2010）

関東建設弘済会の助成金により作成した。作成したポスター・リーフレットは実施団体および沿川の自治体を通じて広報を推進した他、リーフレットは沿川の駅のラックに置き、駅構内でのポスターの掲示をお願いするなど積極的に活用した。

◎サンクスレター（荒川クリーンエイド 2010）

荒川クリーンエイド参加者に、参加への感謝の気持ちを伝えるとともに、数えるゴミ拾いで集計したゴミのデータを社会に発信してゴミの発生抑制をめざしていることを伝える「サンクスレタ

ー」を初めて作成して、秋以降の実施団体を通じて配布した。

○報告集

助成金により昨年に引き続き全ページをカラーとし、新たにスタッフからのメッセージを伝えるなどよりわかりやすい内容への工夫を加えて制作した。

○ホームページ

初めて見た方にも荒川クリーンエイドの活動や社会的意義などを伝えやすく、知りたい情報がわかりやすく提供できるよう7月に全面リニューアルを実施した。

○ニュースレター

年度内に3回(4/1号、9/1号、1/10号)の発行とした。4/1号、1/10号はカラー印刷で発行した。

○Eメールニュース

年間12回発行し、関係者に対してタイムリーに情報を届けた。

◎プレスリリース

新入社員研修(5月)、主体間連携による自然再生(10月)、ペットボトル調査(10月)の合計3回、メディアに対してプレスリリースを発信した。前年度に発信したプレスリリースについては、4月3日の東京新聞朝刊に「ペットボトルが増加、環境への悪影響深刻化」という記事として大きく掲載された。

## 8. 運 営

若い世代の事務局長の就任により、事務局運営体制の強化・柔軟化および、自然管理などの新たな事業計画の積極的な立案・推進、新たな助成金・寄付の獲得などを実現した。また、インターンによる事務局支援も加わり円滑な事務局業務を遂行できた。

## 2010 年度活動報告の概要一覧

事業	活動名	実施日・会場等	概要
1 クリーンエ イド活動	春のクリーンエイド	4～8月(2010年1～3月含む)	荒川流域で年間 110 会場で実施
	秋のクリーンエイド	9～12月	
	荒川ペットボトル大捜索 2010!	9～12月	ペットボトルの種類別個数の調査
	実施説明会・体験会 指導者育成	4月24日 9月25日	クリーンエイドの趣旨・実施方法の説明等 各日午前には実習、9月に安全講習も併催
	主催会場の運営	5月29日、10月17日、11月6日	他団体と共催してクリーンエイドを実施
	報告・連絡会	2月16日	2010年の結果報告、2011年の計画共有
2 自然地理 管理	小松川自然地理連続プログラ ム	9月～11月(7回)	生き物観察、外来植物の除草、ヨシ刈りな どを実施
	絶滅危惧種の復活プロジ ェクト	10月～12月(5回程度)	有識者、全国の事例へのヒアリング、事例 調査を実施、結果を踏まえて計画を立案
3 水質調査	身近な水環境の全国一斉調 査	6月6日を中心に一斉調査 11月27日	荒川下流域(一部江戸川流域)56地点で実施 全国水環境マップ実行委員会参加
	秋のクリーンエイド時水 質調査	10～11月 会場近くの橋 中央で採水・実施	9地点で詳細調査。その他21会場におい ても調査を実施
4 流域交流	荒川源流エコツアー	9月11～12日秩父市大滝	原生林散策、間伐体験、山村住民との交流 等
	荒川流域再生シンポジウ ム	シンポジウム共催 8月 6,7日嵐山にて	荒川流域ネットワークと連携した荒川流域 再生プロジェクト活動
5 環境教育	小中学校環境学習支援	年間24回	クリーンエイドと水辺の環境学習を支援
	高校奉仕活動等支援	4月21日	クリーンエイドと事前学習を支援
	自然環境教室	年間9回	クリーンエイド会場等にて開催
	社員研修プログラム	通年	2社で実施。2011年春の実施に向けてプロ グラム開発
6 他セクター や全国・世 界とつなが る活動 (参加・協 力)	荒川自然懇談会	3回(5月10日、11月26 日、2月10日)	荒川の河川ゴミや河川環境に関する行政へ の提言など
	埼玉県河川環境団体連絡協議会	1回(1月29日)	川の再生交流会に参加
	荒川下流部自然地理管理・運営検討会	1回(2月4日)	荒川下流のモデル自然地の活用検討
	国土交通省河川局河川課 ワーキング	1回(2月9日)	「河川ゴミの状況把握・発生抑制に関する ワーキング」に参加
	一般社団法人 JEAN	随時	ゴミ調査結果を報告し、世界の海洋ゴミデー タに反映
7 広 報	ポスター・リーフレット	7月制作。ポスター1,000部 リーフレット2万部	クリーンエイド活動の周知、広報用
	サンクスレター	9月制作。1万部	参加者に感謝の意を込めて配布
	報告集	3月発行	カラー印刷
	ホームページ	7月リニューアル、随時更新	団体紹介、行事の案内・報告他
	ニュースレター	4,10,1月に発行	行事の案内・報告他
	Eメールニュース	年12回配信	行事の案内・報告他
	プレスリリース	年3回配信	メディアに対しての情報発信
8 運 営	第11回定期総会	5月15日	足立区生涯学習センター
	理事会・運営委員会	随時開催	予算・決算の提案やACFの運営に関わる協議